

アート月ごよみ 9月24日(木) 京都市美術館

# ルーヴル美術館展

日常を描く～風俗画にみるヨーロッパ絵画の真髄

## レクチャー&鑑賞会のご案内

身分や職業を異にするさまざまな人々の日常生活が描かれた「風俗画」。

ヨーロッパ絵画の真髄ともいえる絵画の読み解きを楽しみませんか。

16世紀初頭から19世紀半ばまでの風俗画の展開を、ルーヴル美術館珠玉の名画約80点でたどる話題の「ルーヴル美術館展」。待望の初来日となるフェルメールの傑作『天文学者』をはじめ、ティツィアーノ、レンブラント、ムリーリョ、ル・ナン兄弟、ヴァトー、ブーシェ、シャルダン、ミレーなど各国各時代を代表する巨匠作品が一堂に会するかつてない本格的な展示を共立女子大名誉教授・城一夫先生の解説付きで鑑賞します。昼食は京料理六盛の特製ランチをご賞味下さい。

### ■スケジュール：2015年9月24日（木）

京都八条口 集合 11:15⇒岡崎へ移動（タクシー利用）⇒「六盛」で昼食後 事前レクチャー 13:00～14:00⇒徒歩移動 京都市美術館にて「ルーヴル美術館」展鑑賞⇒自由解散

■受講料(京都駅から現地までの移動交通費、昼食代、鑑賞券代、レクチャー代 含む)

10,800 円（往路京都駅まで、復路美術館以降の交通費は含まれておりません）

### ■レクチャー講師：城一夫 プロフィール

共立女子学園名誉教授。専門は美学・美術史、色彩文化・装飾文化・ファッション文化の研究。「大江戸の色彩展」「明治・大正・昭和の色彩展」など展覧会企画・構成を担当する。著書に『常識として知っておきたい「美」の概念60』『フランスの装飾と文様』『フランスの配色』『フランスの伝統色』など多数。

